

平成 30 年度 市民提案型パートナーシップ事業

「伊豆の国 国清汁推進事業」

報告会資料

伊豆の国郷土九美愛 お料理レシピお持ちください
協賛店募集中



ふじのくに「食の都」しずおか

美味しい縁結び 協賛店募集中

伝統 国清汁 平成 Premium

伊豆の国郷土九美愛×伊豆の国市農業商工課

伊豆の国「国清汁」推進事業 実施概要

1. 実施の目的

- ・ 地元の野菜を使って作った国清汁を多くの人に知ってもらい、一般家庭でも郷土料理としての復活を目指す
- ・ 伊豆の国郷土料理として市外の人達にも PR していく
- ・ 食を通して伊豆の国市の歴史や文化に触れ、興味をもっていただく

2. 事業の概要

- ・ 平成 30 年 11 月 11 日
京都長岡京市「ガラシャ祭り」にて国清汁の出店と伊豆の国市の PR、レシピの配布
- ・ 平成 30 年 12 月 1 日
静岡県市町駅伝市町対抗物産展(夢逸品市場)にて国清汁の出店と歴史についての PR、レシピ配布
- ・ 平成 31 年 1 月 12 日
いちごまつりにて国清汁の出店と歴史についての PR、レシピ配布
- ・ 平成 31 年 1 月 20 日
第 13 回パン社のパン祭にて国清汁の出店と歴史についての PR、レシピ配布

3. 役割分担

[実施団体]

- 市内外のイベントに出店
- 国清汁にまつわる歴史の PR
- 国清汁のレシピの配布

[事業担当課]

- イベント情報の提供
- イベント時のレシピ、販売などの協力
- 事業の PR

4. 協働で実施することの効果

(市民のメリット)

- 補助を頂くことによって多くの方に、手ごろな価格で提供できるため
- 国清汁を多くの方に知っていただき、国清汁を通して伊豆の国市の歴史、文化のすばらしさを再確認でき、伊豆の国市の郷土料理の一つとして、友人や、知人に紹介できる
- レシピも無料に配布しているので、家庭でも手軽に郷土料理を楽しむことができる

(団体のメリット)

イベントの情報が得ることができ、市の協力することによってPR効果が高く得られる

販売の協力をしていただくことにより市民の方、一人一人に心配りでき、より詳しく国清汁や伊豆の国市について説明できる

(市のメリット)

食を通して、市民の方が伊豆の国市の歴史や文化に興味を持っていただくことができる

伊豆の国市の郷土料理の一つとしてメジリアなどを通し伊豆の国市をPRすることできると共に市外の方が伊豆の国市を訪れるきっかけを作ることができる。

5. 伊豆の国郷土九美愛活動内容

- 平成30年 9月20日 第1回目(全15回目)会合(今後の予定)
- 平成30年10月18日 第2回目(全16回目)会合(長岡京ガラシャ祭の打ち合わせ)
- 平成30年11月 8日 第3回目(全17回目)会合(ガラシャ祭参加者の最終確認)
- 平成30年11月10日 長岡京市内で国清汁づくり
- 平成30年11月11日 ガラシャ祭 ☆
- 平成30年12月 1日 市町対抗物産展(夢逸品市場) ☆
- 平成31年 1月12日 いちごまつり ☆
- 平成31年 1月20日 パン祖のパン祭 ☆

☆=市と協働したイベント

～伊豆の国郷土九美愛ポスター～



～国清汁をPRしている説明ポスター（一例）～



国清寺

国清寺とは・・・1362（貞治元）年、室町幕府の有力者・奥山国清（はたけやまくにきよ）が創建したとされ、1368（応安元）年関東管領の上杉憲顕が本格的な寺として修築した寺です。最盛期には子院78、末寺300を擁する壮大な伽藍となり、室町幕府3代将軍足利義満の時には関東十刹（じつさつ／関東の十の大きなお寺の六番目）に加えられました。仏殿には、鎌倉時代慶長の作による釈迦如来像が安置され、境内には、開基・開山の墓や、旧

観林庵の子育て地蔵などが残されています。

この寺を舞台とした天狗にまつわる伝説が3つも伝えられていて、「天狗にさらわれた一兆さん」は特に有名です。一兆和尚は実在の人物で、後に塔頭の高岩院住持となりました。また、今でも建長汁と共に、修行僧が食べている国清汁（こくしょうじる）はこの寺が発祥の地です。

国清汁・・・鎌倉時代の建長寺に醤油仕立ての建長汁（けんちんじる）があり、同じ法統の流れで蘆山宗古谷の国清寺に味噌仕立ての国清汁（こくしょうじる）ができました現在の専門道場でも茶会・授戒会・接心会・人よせの時、建長汁、国清汁を出しますが、もともとは道場で大衆に出した残りの野菜、大根人参ゴボウ等の頭のところ、皮などをもったいないとして油で炒め貝だくさんの汁として食したものだと言われています。

また、米のとぎ水を混ぜることで味に深みが出るので入れることもあります。

～国産汁で使用している伊豆の国ブランドの説明（一例）～

☆ろっぼう野菜



土屋建設田中山ほ場で生産する農作物の総称（自社ブランド）
伊豆地域の魅力が詰まったオリジナルブランド野菜です。

☆日本初の兵糧パン（かのんぱん）

幕末の頃、伊豆藍山代官江川太郎左衛門は、ヨーロッパ軍隊の研究を重ね、保存食としてパンを日本で初めて焼きました。

「パン祖のパン」は、1842年（天保13年）に焼かれた兵糧パンを再現したもので、「カノンパン」は

それを棒状にアレンジし、ほどよいかたさにしたものです。



現在、郷土九美愛では棒状にアレンジしたカノンパンを使用しています。

☆コーボンみそ



『コーボンみそ』は、大豆・米・塩・天然酵母など、原材料はすべて国産！！

昭和25年より受け継がれる天然酵母でお味噌

1年～1年半熟成・発酵させた天然酵母で国産大豆が仕込まれさらに発酵・熟成。しっかり、しっかり生きた伊豆の生みそです

~国産汁を調理して頂く所~

☆割烹料理だるま



伊豆長岡温泉街の静かな一角にあります。創業八十余年の店内には季節の花や調度品があり、落ち着いた雰囲気でおくつろぎいただけます。

☆割烹料理おおた



落ち着いた空間、カウンター席あり、座敷あり、掘りごたつあり
BGM ジャズが流れる地元の食材を使った、料理屋です

6. 活動&PR 成果報告

～ガラシヤ祭～



☛ 国清汁が長岡京に!

長岡京市長に食べていた
いただきました



☛ 多くの長岡京市民
に国清汁を食べて
もらいました。

～市町対抗物産展(夢逸品市場)～



➡ 多くのお客様が来場

てつざえもんが応援
に来てくれました



平成30年12月1日(土)
 和歌山(市町)対抗
 対抗駅伝競走大会
 藤原市町対抗物産展 出番
 草薙総合運動場
 夢逸品市場内
 国清汁 販売
 レシピ 別付
 伊豆の国市の代表として桜井対
 伊豆の国郷土九美羹

➡ 伊豆日日新聞 11月29日
 広告として記載していただき
 ました

～いちごまつり～



いちごまつりに出店

寒さもあり温かい国清
汁は大変賑わいました



国清汁に使用している
ろっぼう野菜の宣伝を
しました

～パン祖のパン祭～



パン祖のパン祭
出店



明日1月20日(日)
パン祖の
パン祭り
■ 蕪山時代劇場
(伊豆の国市四日町772)
■ 10:00~14:30
国清汁販売します
レシピ配布
伊豆の国郷土九善愛

1月19日伊豆日日新聞
広告として記載していただき
ました

7. 事業の効果

今年初めて友好都市の長岡京市「ガラシャ祭」に出店をした。長岡京市長や多くの市民の方々に国清汁を食べていただき、国清汁が生まれた歴史や背景(国清寺のこと)など伊豆の国のさらなるPRにつながった。また、長岡京市民とのふれあうことができ私たちにとっても貴重な体験となった。

イベントに参加することに認知度が高くなりリピーターが増えた。また、レシピも自ら持って帰る人が多くみられた。

市と協働したことにより市代表としてイベントの参加ができたため、手続きやPRなど上手に行うことができた。

8. 今後の対応

オリンピックの自転車競技が伊豆市で開催されるので、世界各国の競技者、サポーターの方々に国清汁を食していただき、オリンピックを盛り上げていきたい。また、伊豆半島ジオパークや静岡DC等で旅行客が増えるため、旅館に泊まり、温泉に入り、国清汁を食す、という流れを作っていきたいと考えております。